

「全鍍連」 2022年 9月号 組合員の広場

茨城県鍍金工業組合

佐藤 博徳 (有)佐藤電化工業所 代表取締役)

「八郷(やさと)のぶどう」とツーリング」

茨城県の自然はただひたすら平らな平地が多いのですが、意外にも海山の変化もあり北は八溝山、五浦海岸や奥久慈の溪谷など、南では北浦、霞ヶ浦、筑波山など興味深い地域が多々あります。近頃、私はオートバイツーリングを始めまして、天気の良い週末のみリターンライダーとなり旬の産物などを探しに出かけます。季節は初夏、今頃はメロンが最盛期の季節です。茨城と言えばご存知メロン出荷量全国1位、甘くて美味しいメロンが近所のスーパーマーケットでも1個千円前後で口にできますが「銚田」の直売所では数百円で買うことができます。真ん中から2つに割ってスプーンでいただくのが私流、というよりその方が合理的と思う人が多いのも納得です。

さて、この投稿は9月掲載ということでその頃に最盛期を迎える産物の中でも昨年一番よかったと思う「八郷のぶどう」を紹介しましょう。私の住む「ひたちなか市」

からは片道1時間程度のツーリング、周辺の山道や林道散策を追加して走っても日帰りツーリングにはちょうど良い距離です。令和3年に「日本ジオパーク」に再認定された筑波山域ジオパークの「石岡市八郷地域」は特筆すべき点があります。北に愛宕山、西を加波山、筑波山、南は鬼越山、小町山とCの字に囲まれた盆地となっており、「日本の里百選」にも選ばれる70棟近い茅葺民家が残る昔ながらの里を見学できる場所でもあります。筑波山系の豊かな水と盆地な

らではの温暖な気候がいまって肥沃な土壌に恵まれ、年間を通じて様々な農産物が栽培されているのです。この地域は「フルーツ王国」とも呼ばれ、8月上旬からはブドウ、梨、柿と11月まで果物を楽しむことができます。梨は全国出荷量第2位の茨城県ですからメロンと同様あちらこちらに出回っていますが「八郷のぶどう」はそうでもありません。近所にもブドウ園はいくつかありますが「八郷のぶどう」は茨城県では珍しい地形にあるせいか食して



延々と続く「銚田」の海岸、時々転ぶ…



八郷のぶどう直売所 (2021年8月29日)

格別でした。品種は「巨峰」が中心ですが欧州系の「ロザリオ・ビアンコ」などもあるようです。またブドウ出荷量で茨城県の約 200 倍に相当する山梨県には及びませんが「シャインマスカット」もなかなかの味です。オートバイですから沢山は買えませんがバックに箱ごと積めるだけ詰めて帰ってから密かに楽しみます。八郷ぶどうは生産量が少ない上に 8 月下旬に最盛期を迎え 9 月初旬には終わってしまうのでお越しの際はお早目に。余談ですが周辺にゴルフ場もたくさんあります。有名な「穴戸ヒルズ CC」も隣町の「笠間市」ですぐ近くです。

